

# 大崎市総合計画

## 市民意識調査の結果報告

より良い大崎市をつくるために

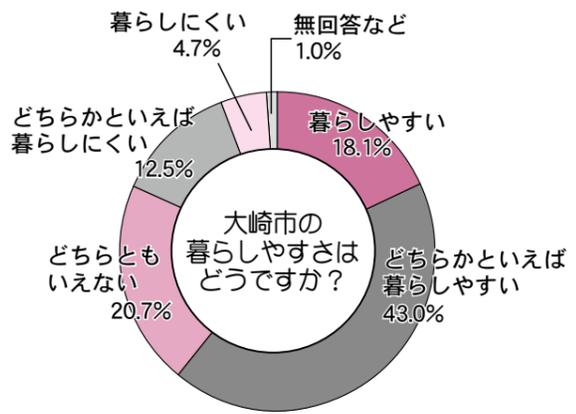
市では、総合計画に基づき、将来像である「宝の都(くに)・大崎くずつとおおさき・いつかはおおさき」の実現に向けて、まちづくりを進めています。

この調査は、市民の皆さんが、市政に対してどのような要望を持っているのか、今後の市政運営において何を重要と考えているのかなどを把握し、今後の施策に反映することを目的に実施しているものです。

今回は、東日本大震災後の初めての調査となるため、震災からの復旧・復興などの設問を設けて実施しました。

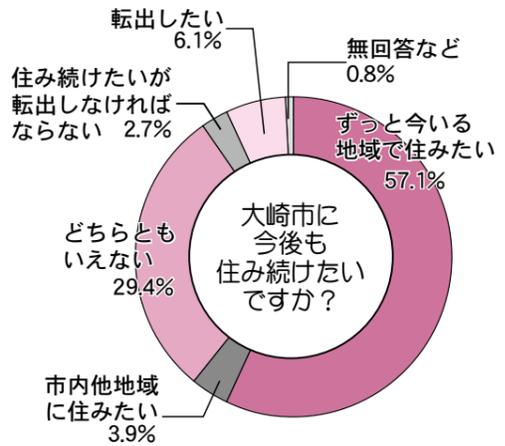
主な調査結果を紹介します。なお、詳しくは市ウェブサイトに掲載します。

政策課政策企画担当 ☎2129



### 大崎市の暮らしやすさはどうですか？

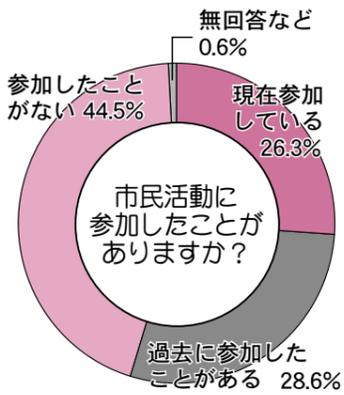
「どちらかといえば暮らしやすい」(43.0%)、「どちらともいえない」(20.7%)、「暮らしやすい」(18.1%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(12.5%)、「暮らしにくい」(4.7%)の順となっています。「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」をあわせると、暮らしやすさを感じている人が60%を超えています。



### 大崎市に今後も住みたいと思いますか？

市内への居住意向の質問では、「ずっと今いる地域で住みたい」(57.1%)と考えている人が半数を超えており、次いで「どちらともいえない」(29.4%)、「転出したい」(6.1%)、「市内他地域に住みたい」(3.9%)、「住み続けたいが転出しなければならない」(2.7%)の順となっています。「ずっと今いる地域で住みたい」と「市内他地域に住みたい」をあわせると、60%の人が市内に住みたいと感じています。

### 地域コミュニティ活動やボランティア活動等の市民活動に参加したことがありますか？

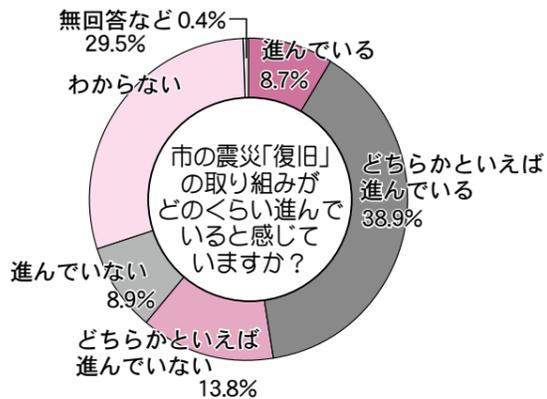


地域コミュニティ活動やボランティア活動などの市民活動への参加では、「参加したことがない」(44.5%)が最も多く、次いで「過去に参加したことがある」(28.6%)、「現在参加している」(26.3%)の順となっています。また、参加してみたい分野は、「環境」(29.4%)、「福祉」(20.8%)、「まちづくり」(19.1%)の順となっています。

### 大崎市の震災「復旧」の取り組みがどのくらい進んでいると感じていますか？

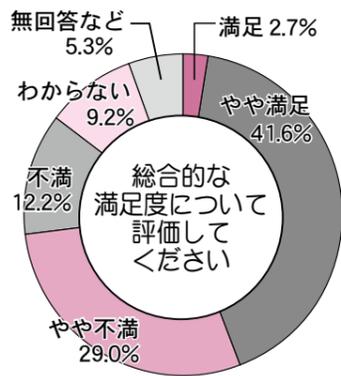
「どちらかといえば進んでいる」(38.9%)が最も多く、次いで「わからない」(29.5%)、「どちらかといえば進んでいない」(13.8%)、「進んでいない」(8.9%)、「進んでいる」(8.7%)の順となっています。「進んでいる」と「どちらかといえば進んでいる」をあわせると、進んでいると感じている人が約半数となっています。

また、復旧が進んでいないと感じている理由としては、「道路、公共施設などの復旧」(36.3%)、「原発事故への対応」(18.3%)、「家屋等の被害からの復旧」(15.0%)などが選択されています。



### 大崎市の総合的な満足度について評価してください

「満足」「やや満足」をあわせた満足志向は44.3%、「不満」「やや不満」をあわせた不満志向が41.2%となっています。満足志向の方が前回調査(34.1%)に比べ多くになっており、全体的に満足度が高くなってきています。



## 施策に対する市民満足度の推移

### 市民満足度のグラフ

各施策に対する回答者の答えを満足度(満足100、やや満足75、やや不満25、不満0)として点数化し、全回答者の平均値を算出しています。満足度は、100に近いほど高く、0に近いほど低くなります。

#### 平成22年度のグラフ

#### 平成25年度のグラフ

